



ヘルスイنفォメーション

Health Information

お知らせ

冬の感染症にご注意ください！

ノロウイルス感染症

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、特に冬季に流行します。手指や食品などを介して、経口で感染し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。子どもやお年寄りなどでは重症化することがあります。

予防ワクチンがなく、また、治療は点滴などの対症療法に限られます。

■ 予防対策

・患者の便や吐ぶつには大量のウイルスが排出されるので、食事の前やトイレの後などには、必

ず手を洗いましょう。

- ・下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
- ・胃腸炎患者に接する方は、患者の便や吐ぶつを適切に処理し、感染を広げないようにしましょう。
- ・食材はしっかり加熱・調理し、調理器具等は使用後に洗浄、殺菌しましょう。

詳しくは、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。

インフルエンザ

インフルエンザは突然の発熱、のどの痛み、せき等の呼吸器障害のほか、頭痛、関節痛などの全身症状が現れます。

持病がある人、妊婦、乳幼児、

高齢者は重症化の恐れがあるため、早めの受診が必要です。

■ 予防対策

- ・外出後は手を洗いましょう。
- ・人ごみを避けましょう。
- ・普段から十分な栄養と休養をとり体調管理に気をつけましょう。
- ・咳、くしゃみが出るときは、マスクを着用しましょう。

■ かかったかな？と思ったら

- ・医療機関で受診しましょう。その際は必ずマスクを着用してください。
- ・診察の結果、インフルエンザと診断された場合は自宅療養に努めてください。周囲の方への感染を防ぐため、熱が下がってから2日程度、症状が治まった翌日から7日程度は外出を控えてください。

救急医療の体制について

本市の救急医療体制は、小山医療圏（小山市、下野市、野木町、上三川町）において患者の容態により一次救急、二次救急、三次救急の三種類に分けた受入体制を実施しています。

救急患者が迅速かつ適切な医療を受けられるよう、医療機関と消防機関の連携・協力をとっています。

■ 一次救急医療体制

主に休日や夜間の軽症患者（外来治療で済む救急患者など）に対する救急医療を提供するため、夜間休日急患診療所や在宅当番医制を行っています。

広報しもつけにその月の救急

告示医療機関当番（一次急患）が載っていますのでご覧ください。今月は42ページに掲載されています。

■ 二次救急医療体制

主に入院や手術を必要とする重症患者に対する救急医療となります。

① 病院群輪番制病院

新小山市市民病院（月・水・土・日曜日）

☎(36)0200

石橋総合病院（火・木曜日）

☎(53)1134

光南病院（火・木曜日）

☎(45)7711

杉村病院（金曜日）

☎(25)5533

小金井中央病院（金曜日）

☎(44)7000

自治医科大学附属病院救命救急センター（日曜日）

☎(44)2111

② 小児二次救急医療支援事業

新小山市市民病院（休日の昼間帯）

☎(36)0200

自治医科大学附属病院救命救急センター（毎日の夜間）

☎(44)2111

■ 三次救急医療体制

主に脳卒中や急性心筋梗塞など、特に症状の重い重篤患者に対する救急医療体制となります。

自治医科大学附属病院救命救急センター（毎日の夜間）

☎(44)2111